

大田区矢口中学校「SDGs学習プロジェクト」ルーブリック

評価項目	学習成果	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	
(横軸には自立学習力のレベルの視点を加えています)		知る		考える		行動する		
地域と関わるSDGs学習プロジェクトのプラン	計画力	目標の達成に向け、プロセスを明らかにして計画する力	サポートを受けながら、SDGs学習プロジェクト全体の進め方を知っている。	自分のSDGs学習プロジェクトについて、プロジェクトに必要な記録の作成を理解している。	自分のSDGs学習プロジェクトについて、必要なプロセスを明らかにし、記録を残しながら計画を考えることができる。	自分のSDGs学習プロジェクトについて、計画の実現性を分析し、修正することができる。	地域のSDGs学習プロジェクトに参加して、成功する計画・失敗する計画を統合的に見極め行動することができる。	地域のSDGs学習プロジェクトでの経験を活かし、あらゆるプロジェクトにおいて、成功する計画を立て行動することができる。
	判断力	目的に合った情報を取捨選択・活用して合理的に判断する力	サポートを受けながら、自分の地域の課題について判断するための材料として、良いところ、好きなところ、面白いところを知っている。	自分の地域について判断するために、本を読んだり、映像を観たり、話を聴いたりしながら、理解している。	自分の地域の課題について、図書館・資料館・インターネットなどで得た二次的情報を取捨選択・応用して、判断できる。	自分の地域の課題について、校外の専門家を訪ねて取材するなど生の情報を、合理的な方法で分析し、判断できる。	地域の課題について、偏らない統合的な情報に基づく判断をしながら、地域にとって価値あるプロジェクトを進めている。	地域のSDGs学習プロジェクトで得た判断力を活用し、グローバルな視点であらゆる課題に対して行動し続けている。
地域と関わるSDGs学習プロジェクトの実践	実践力	目的に向かって最後まであきらめずに行動する力	与えられたSDGs学習プロジェクトの中で、プロジェクトの目的を知っている。	SDGs学習プロジェクトの中で、与えられた役割について理解している。	SDGs学習プロジェクトの目的と自分の役割を理解していて、細かい指示がなくても、知識や経験を応用して自分で考えている。	SDGs学習プロジェクトの進捗を観察・分析し、計画外のプロセスが必要になった場合に、率先して考えて、判断している。	SDGs学習プロジェクト全体を統合的に見て、これまでの体験を活かして、地域のためにあきらめずに行動している。	地域での実践を通して得た行動力を活用して、グローバルな問題にぶつかりながらあきらめずに行動し続けている。
	調整力	多様な意見や立場の違いを理解し、周囲の人々や物事との関係を調整する力	多様なメンバーで構成されたチームを想定し、意見や立場の違いがあることを知っている。	多様なメンバーで構成されたチームに参加し、意見や立場の違いに耳を傾けることが重要だと、理解している。	多様な意見や立場の違いを理解し、知識を応用して、周囲の人々や物事との関係を調整しながらSDGs学習プロジェクトを考えることができる。	多様な意見や立場の違いを互いに分析して学び合うことで、均一なチーム以上の価値を生み出すことを考えている。	多様性のあるチームでのSDGs学習プロジェクト経験を統合的に活かして、地域の人々や物事との関係を調整できる。	地域で培った調整力を活かして、多様性社会でのあらゆる関係の調整に貢献している。
地域と関わるSDGs学習プロジェクトのプレゼンテーション	コミュニケーション力	伝えるべきことを、適切で効果的な方法で伝える力	自分のSDGs学習プロジェクトについて、サポートを受けながら、何を伝えるべきかを知っている。	レポート、スピーチ、映像など、表現方法のルールや活用法を理解し、相手にわかりやすく伝えるやり方を理解している。	自分が伝えたいことを効果的に伝えられる方法を選び、適切に応用して、相手の心に響くように考えている。	自分が伝えたいことを効果的かつクリエイティブに伝え、より適切な表現方法を分析し、相手の行動を促すように考えることができる。	効果的、クリエイティブ、かつグローバルな表現方法を統合的に用いて、地域を動かすような発信ができる。	地域で構築した発信力を用いて、あらゆるグローバルな表現方法で広く世界へ向けて伝えるべきことを普及させている。
2019/11/02 version1.0 ©Kyoko Kimura,Tomio Yanagisawa				学校名				
				氏名				